



2018-2019年度

RI会長

バリー・ラシン

RIテーマ

BE THE INSPIRATION

国際ロータリー第2830地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 今井高志 会長 ● 山内一晃 幹事 ● 佐々木悦郎 SAA ● 神山智子

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6
八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<http://www.8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30開会

2月 平和と紛争予防／紛争解決月間

vol.31

第2351回例会

2019.2.19

司会：小澤一雅副SAA

・RIテーマ

点鐘

・ロータリーソング

・クラブソング

・4つのテスト

ゲストの紹介

交換留学生 イザベラ・マロニーさん

会長要件

山内一晃会長



皆さんこんにちは。今日はガバナー月信2月号をご紹介します。まず今井ガバナーのメッセージから。

「ロータリー(財団)の重点分野は6つあり、グローバル補助金はそのどれかに合致していなければ実施できない。その中で最初に取り上げられているのが『平和と紛争予防／紛争解決』で2月の特別月間テーマとなっている。」ということで「世界の紛争による影響を具体的な数字で取り上げてみる。」具体的な数字が載っています。読んでみてください。

「2月は紛争予防と仲裁に関する若者を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防／紛争解決に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。ロータリーでは奉仕プロジェクト、平和フェロシップ、奨学金などさまざまな形で紛争の根底にある諸問題(貧困、不平等、民族間の緊張、教育機会の欠如、資源の不平等など)に取り組んでいる。」事例が載っています。

「紛争解決、平和構築のため直接の奉仕活動が出来なくても、平和フェロシップの候補者を探すことやロータリー財団への寄付は出来る。とくに第二の奉仕活動といわれる寄付は積極的に行って欲しい。」ということが載っています。

「1905年2月23日はロータリーの創始者ポール・ハリスが友人3人と最初に会合を持った日で『ロータリーの創立記念日』とも言われる。毎年2月23日は『世界理解と平和の日』として遵守され、23日から一週間は『世界理解と平和週間』と呼びロータリーの奉仕活動(とくに国際理解、友情、平和構築)を強調するよう求められている。」2月23日はロータリーの創立記念日です。何も準備していなかったの皆さん心の中で祝ってください。

「北国の厳しい冬も県南地方で春を呼ぶと言われる『えんぶり』が始まると春が待ち遠しい気持ちがいつそう強くなる。とかく北国の雪はハンデキャップと言われてきたが、先月山田高校が全国高校サッカーで日本一になった。黒田監督は『雪国の厳しい環境が生徒たちを成長させた』と言っている。我々もいろいろ厳しい環境下にあるが、前向きにロータリー運動を続けて行きたい。」という言葉でしめています。

最後にご報告があります。エラが2月17日に豊川さん宅から玉川さん宅に無事にホストが変わりました。

幹事報告

幹事報告 佐々木悦郎幹事



◎中グループIMのご案内

3月16日(土) 青森国際ホテル

◎東第一グループIMのご案内

3月21日(木) 青森原然テクノロジーセンター

◎つがるRC創立30周年記念式典のご案内

4月13日(土) つがる市生涯学習交流センター

◎青森モーニングRC創立30周年記念式典のご案内

4月20日(土) 青森国際ホテル

◎国際ロータリー年次大会ツアー申込み

6月1～5日 ドイツ(ハンブルク)

◎今週末は当グループのIMです。

八戸パークホテル 14:30～受付開始

親睦委員会報告

大石 源会員



八戸北RC

源新和彦会員:遅刻申し訳ありません。

ポリオ・プラス

奥寺良之会員:

澤口忠彦会員:

中山恵美子会員:

出席報告

本日の出席率	71.8%
前々回の修正出席率	79.5%

地区補助金事業

中山恵美子会員



前回皆様をお願いしておりました地区補助金プロジェクトについて話し合いたいと思います。まずは皆さんから案を頂戴したいと思います。どなたかございませんか？

前回少しお話した子供達に対しての地域貢献の案ですが、今日、ネットを見ていて、子供の貧困、社会的擁護の問題が取り上げられていました。私が見たのは、小学5年生から高校卒業まで児童養護施設で育ち、18歳になったら退所しなければならないということで、現在は奨学金を貰いながら夜間大学に通っている男性のお話でした。何がこれから求められるかということ、食料品とか生活の支援はもちろんですが、将来を見据えた進学や就職に関する支援がまだまだ足りないと考えているようです。養護施設にやってくる子供達は夢や目標をもって努力する発想が乏しい状況にあると。本人も高校3年生になってこれから自分はどうするか考えたときに、自分が何をしたいかだけでなく、自分に何が出来るのかイメージできなかったそうです。そのために将来への威力をなくし、先行きを考えることができないまま高校を卒業して、18歳の年齢制限で施設を出たというお話でした。

うちは以前から浩々学園の支援をしているので、やるんだったら浩々学園がいいのではないかと。浩々学園の子供達のお誕生会を年2回でもまとめてやってあげるのはいかがでしょうかという案でした。例えば、夏休みにどこかのレストランでお食事をしてお祝いの、皆で祝ってあげるのが大事じゃないかと思えます。

先程の方も、子供達が色々な人に会う機会がないと。外食の経験もないし、皆でわいわい楽しくという経験もないなかで、こんなに楽しい食事があるんだとか、皆から誕生日を祝ってもらえると嬉しいなという、そういう感覚を感じて欲しいという気持ちがあります。施設の子供達は地域や社会との関わりが少ないから自分の見本となる大人と関わる機会がすごく少ないということでした。そのために、どん

な仕事があるのか、どんな職業があるのか知らないために、何がやりたいのか、何が出来るのか、適性がどうなのか検討するきっかけすらないということでした。

私たちは職業奉仕という観点から、こんな仕事があるよと紹介するだけでもきっかけになったり、将来的にはどこかの会社見学をしたり、ということに繋げていければいいなと思っています。色々やりたいことはあるけれど、まず、とっかかりとして、地区補助金を使って誕生会をしたいという意見でした。

この意見に関してこのまま進めるか、それとも別なものがいいか、皆さんから意見を頂きたいです。

- ・お誕生会は外食、マナーの一環として。
- ・まずは浩々学園から現状、要望を伺う。
- ・地区補助金と記念事業を一緒にするか別にするか。(分けて考える)
- ・会社見学やバス旅行などお誕生会にこだわらない。
- ・浩々学園の方に卓話をして頂く。

今回は、浩々学園を支援するという事で方向性はそれで進めていきます。また、たたき台を作り、皆様にお諮りしますのでよろしくお願い致します。

お知らせ

山内一晃会長



3月5日は職場見学の予定でしたが5月14日になりました。そこで50周年に向けて話し合おうと思っていましたが、今年の地区大会には次の地区大会の開催クラブの挨拶もありますので、そのメニューとか考えなければならないのではということで時間を取りたいと思えます。意見がございましたら持ってきて頂ければと思っております。

私事ですが、ここ1か月皆様に御迷惑をお掛けしておりました。ポリープの結果が出まして数値的には良性と悪性のギリギリラインだったようです。切除して転移もしていないようなので年一回の内視鏡検査になり絶好調になりました。

点鐘